

職員健康保險法施行令中改正勅令の公布

職員健康保險法施行令中改正ノ件

次の如くである。

(昭和十七年一月二十三日 勅令第三十六號)

職員健康保險法施行令中改正の件は昭和十七年一月二十四日付官報を以て公布せられたが、之を掲ぐれば

職員健康保險法施行令中左ノ通改正ス

標準報酬ノ等級	標準報酬		報酬月額
	月額	日額	
第一級	十圓	三十錢	十五圓未満
第二級	二十圓	七十錢	十五圓以上二十五圓未満
第三級	三十圓	一圓	二十五圓以上三十五圓未満
第四級	四十圓	一圓三十錢	三十五圓以上四十五圓未満

第五級	五十圓	一圓七十錢	四十五圓以上五十五圓未満
第六級	六十圓	二圓	五十五圓以上六十五圓未満
第七級	七十圓	二圓三十錢	六十五圓以上七十五圓未満
第八級	八十圓	二圓七十錢	七十五圓以上八十五圓未満
第九級	九十圓	三圓	八十五圓以上九十五圓未満
第十級	百圓	三圓三十錢	九十五圓以上百圓以下

第四條 標準報酬ハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日ノ現在ニ依リ之ヲ定ム

現在ニ於ケル月額

被保險者ノ報酬ガ其ノ増減アリタルニ因リ従前ノ報酬月額ニ基キ定メラレタル標準報酬ニ該當セザルニ至リタル場合ニ於テハ其ノ報酬ニ増減アリタル月ノ翌月(報酬ニ増減アリタル日ガ月ノ初日ナルトキハ其ノ月)ヨリ其ノ標準報酬ヲ變更ス

三日、時間又ハ請負ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日又ハ報酬ニ増減アリタル日前一週間ニ現ニ使用セラルル事業ニ於テ同様ノ業務ニ従事シ同様ノ報酬ヲ受クル者ガ受ケタル報酬ノ額

職員健康保險法第二十七條ノ規定ニ依リ被保險者ノ標準報酬ニ付テハ引續キ従前ノモノニ依ル

四 前三號ノ規定ニ依リ算定シ難キモノニ付テハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日又ハ報酬ニ増減アリタル日前一週間ニ其ノ地方ニ於テ同様ノ業務ニ従事シ同様ノ報酬ヲ受クル者ガ受ケタル報酬ノ額

第五條 第三條ニ規定スル被保險者ノ報酬月額ハ左ノ各號ノ規定ニ依リ之ヲ算定ス

五 前各號ノ二以上ニ該當スル報酬ヲ受クル場合ニ於テハ其ノ各ニ付前各號ノ規定ニ依リ算定シタル額ノ合算額

一 一年ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日又ハ報酬ニ増減アリタル日ノ現在ニ於ケル年額ノ十二分ノ一

六 同時ニ二以上ノ事業所ニ於テ報酬ヲ受クル場合ニ於テハ各事業所ニ付前各號ノ規定ニ依リ算定シタル額ノ合算額

二 月ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日又ハ報酬ニ増減アリタル日ノ現在ニ於ケル年額ノ十二分ノ一

被保險者ノ報酬月額ガ前項ノ規定ニ依リ算定シ難キトキ又ハ前項ノ規定ニ依リテ算定シタル額ガ著シク不當ナルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ被保險者ニ於テ適當ノ方法ニ依リ之ヲ算定スベシ

現在ニ於ケル年額ノ十二分ノ一

算定方法ハ規約ヲ以テ之ヲ定ムベシ

資格ヲ取得シタル日又ハ報酬ニ増減アリタル日ノ現在ニ於ケル年額ノ十二分ノ一

第二十四條 議員ノ選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フヲ例トス

資格ヲ取得シタル日又ハ報酬ニ増減アリタル日ノ現在ニ於ケル年額ノ十二分ノ一

投票ハ無記名トシ一人一票ニ限ル

本令ハ昭和十七年二月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行ノ際現ニ被保險者ノ資格ヲ有スル者ノ標準報酬

第七十四條中「第五十五條第三項」ヲ削リ
第七十五條第二項ヲ削リ同條第三項中「第一項」ヲ「前項」ニ改ム
附則

酬ハ第四條第一項ノ改正規定ニ拘ラズ其ノ者ニ付現ニ定マリ居レル標準報酬ノ等級ニ相當スル第三條ノ改正規定ニ依ル標準報酬トス

〔参照〕

昭和十四年^{十二月二十}勅令第八百五十八號職員健康保險法施行令抄録

康保險法施行令抄録

第三條 職員健康保險法第三條第一項ノ標準報酬ハ被保險者ノ報酬月額ニ基キ左ノ區別ニ依リ之ヲ定ム

(左表略ス)

第四條 標準報酬ハ毎年六月一日ノ現在ニ依リ之ヲ定メ八月一日ヨリ翌年七月三十一日迄其ノ效力ヲ有ス但シ被保險者ノ資格ヲ取得シタル際ニ於ケル標準報酬ハ其ノ資格ヲ取得シタル日ノ現在ニ依リ之ヲ定メ其ノ日ヨリ其ノ年七月三十一日(六月二日ヨリ十二月三十一日迄ノ間ニ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者ニ付テハ翌年七月三十一日)迄其ノ效力ヲ有ス

被保險者ノ報酬ガ其ノ増減アリタルニ因リ従前ノ報酬月額ニ基キ定メラレタル標準報酬ニ該當セザルニ至リタル場合ニ於テハ其ノ報酬ニ増減アリタル月ノ翌月(報酬ニ増減アリタル日ガ月ノ初日ナルトキハ其ノ月)ヨリ其ノ標準報酬ヲ變更ス

職員健康保險法第二十七條ノ規定ニ依ル被保險者ニ付テハ第一項ノ規定ニ拘ラズ引續キ従前ノ標準報酬ニ依ル

職員健康保險組合ハ第一項ノ規定ニ拘ラズ標準報酬ノ決定ニ關シ規約ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第五條 第三條ニ規定スル被保險者ノ報酬月額ハ左

ノ各號ノ規定ニ依リ之ヲ算定ス

一 年ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬決定ノ日ノ現在ニ於ケル年額ノ十二分ノ一

二 月ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬決定ノ日ノ現在ニ於ケル月額

三 日ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬決定ノ日ノ現在ニ於ケル日額ノ三十倍

四 前三號ノ規定ニ依リ算定シ難キモノニ付テハ標準報酬決定ノ日前一年間ニ於テ受ケタル報酬ノ額ノ十二分ノ一但シ現ニ使用セラレル事業ニ於テ報酬ヲ受ケタル期間一年ニ滿タザルトキハ其ノ受ケタル報酬ノ額ヲ其ノ期間ノ日數ヲ以テ除シテ得タル額ノ三十倍

五 前各號ノ二以上ニ該當スル報酬ヲ受ケル場合ニ於テハ其ノ各ニ付前各號ノ規定ニ依リ算定シタル額ノ合算額

六 同時ニ二以上ノ事業所ニ於テ報酬ヲ受ケル場合ニ於テハ各事業所ニ付前各號ノ規定ニ依リ算定シタル額ノ合算額

被保險者ノ報酬月額ガ前項ノ規定ニ依リ算定シ難キトキ又ハ前項ノ規定ニ依リテ算定シタル額ガ著シク不當ナルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ保險者ニ於テ適當ノ方法ニ依リ之ヲ算定スベシ

保險者ガ職員健康保險組合ナル場合ニ於テハ前項ノ算定方法ハ規約ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第二十四條 議員ノ選舉ハ無記名投票ニ依リ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

第五十五條第一項及第三項

組合ハ支拂上現金ニ不足ヲ生ジタルトキハ準備金ニ屬スル現金ヲ繰替使用シ又ハ一時借入金ヲ爲スコトヲ得

第一項ノ一時借入金ヲ爲シ得ベキ限度ハ毎年度監督官廳ノ認可ヲ受クベシ

第七十四條 第二十五條第三項、第四十一條、第四十八條第一項、第五十二條、第五十五條第三項、第五十六條及第五十七條ニ於テ監督官廳トアルハ保險院長官トス

第七十五條 職員健康保險法第四十七條第一項ノ療養費ヲ支給スベキ療養ノ範圍ハ左ノ如シ

三 處置、手術其ノ他ノ治療

四 診療所收容

五 看護

六 移送

前項第三號ノ療養ハ緊急ノ場合其ノ他保險者ガ必要アリト認ムル場合ヲ除クノ外之ニ要スル費用一回二十圓以下ノモノニ限ル

第一項第四號乃至第六號ノ療養ハ保險者ガ必要アリト認ムルモノニ限ル

醫療關係者徵用扶助規則の公布

醫療關係者徵用扶助規則は昭和十七年一月十九日付官報を以て公布せられた。之を掲ぐれば次の如くである。

醫療關係者徵用扶助規則

(昭和十七年一月十九日厚生省令第三號)

第一條 醫療關係者徵用令第二十一條ノ規定ニ依ル扶